

令和5年度 市民の声提案箱 回答

番号	受付日	回答日	回答方法	担当課
33	1月4日	1月15日	メール	生涯学習課
<p>提案内容</p> <p>●誠道公民館のイルミネーションについて 能登半島地震に際して、誠道公民館のイルミネーションの電気を切る判断もあったのではないかと思います。市の意見をお聞かせください。</p>				
<p>回答内容</p> <p>○誠道公民館のイルミネーションについて 誠道公民館周辺のイルミネーション設置は、誠道公民館運営審議会委員の皆様の発案で行われている取組であり、地域に賑わいを取り戻したいという願いを込め、令和5（2023）年12月10日から令和6（2024）年1月12日までの期間、クリスマス及び新年をお祝いして開催されている地域主体のまちづくり活動です。設営、点灯式には、大勢の地域の方が集まり、地域の新たなシンボルとしての期待が高まっています。 本年1月1日に発生した能登半島地震に際して、市は、市内に津波注意報が発令されたことに伴い、休日であっても公民館へ躊躇なく避難いただけるように市職員を配置し、対応を行いました。地域主体のまちづくり活動の中止までは、求めなかったところです。 今回のご提案につきましては、主催者である誠道公民館運営審議会委員の皆様にお伝えしたいと思います。</p>				

番号	受付日	回答日	回答方法	担当課
34	1月30日	2月7日 2月9日 2月14日	郵送	観光振興課、水産商工課、 都市整備課、管理課、建築営繕課
<p>提案内容</p> <p>●渡船場トイレについて 海岸緑地トイレについて、紙切れがたびたび発生し、ワンタッチ式ホルダーの増設を要請してきたが、紙切れは発生していないとウソの回答ばかり。市長は観光客の出迎えをしているが、受け入れ体制をきちんとするほうがよいがどう判断されるつもりか。 (また、常夜灯が暗いとの指摘あり)</p> <p>●松ヶ枝町トイレについて 以前より松ヶ枝町トイレにペーパーホルダーを増設するよう提案している。改めて増設について検討してほしい。</p>				

令和5年度 市民の声提案箱 回答

●馬場崎町トイレについて

大分前から自転車が放置されている。また、トイレトペーパーの紛失やトイレ内での喫煙している人がいる。

●植木のはみ出しについて

植木が道路にはみ出している家がある。道路に出ないように要請してほしい。

回答内容

○渡船場トイレについて

これまで利用者からトイレトペーパーが全てなくなっているとの連絡や当方が週2回清掃する際にトイレトペーパーが全てなくなっている状況も確認していないこと、ご提案者様が確認されている時点でもトイレトペーパーが全てなくなっている状況ではないことから、利用に支障がある状況ではないと考えております。

また、船の係船が多いとき、観光客の入込数が多く見込まれる時には、適時確認し、補充回数を増やすことで対応したいと考えております。

以上のことから、前回同様の回答となりますが、ペーパーホルダーの増設を行うことは考えておりません。

なお、常夜灯が暗いというご指摘につきましては、照明が暗い部分がありましたので、電球を明るいものに交換いたしました。

○松ヶ枝町トイレについて

松ヶ枝町トイレのトイレトペーパーについては、利用者にご不便をおかけしないよう、補充の回数を増やすなどの対応を清掃委託先へ依頼しております。

また、ペーパーホルダーに補充しているトイレトペーパーの盗難被害が後を絶たず、これ以上の被害を出さないためにも、ペーパーホルダー増設は考えておりません。

何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

○馬場崎町トイレについて

2月5日（月）、現地を確認したところ、放置自転車は見当たりませんでした。おそらく持ち主の方が乗って帰られたと思います。

トイレトペーパーの紛失とトイレ内での喫煙につきましては、以前ご提案いただいた際に、トイレ内に注意喚起看板を設置し、対応しているところであります。

○植木のはみ出しについて

現地確認及び所有者調査を行い、直接訪問または文書発送により、ご提案内容をお伝えするとともに、適正な管理を実施するよう依頼します。

令和5年度 市民の声提案箱 回答

番号	受付日	回答日	回答方法	担当課
35	1月31日	2月9日	メール	総合政策課

提案内容

●みんなでまちづくり推進会議の見直しについて

市報1月号でみんなでまちづくり推進会議の委員を募集しているが、今のやり方ではダメだから委員が辞めてしまう。組織としての在り方を見直したほうがよい。

回答内容

○みんなでまちづくり推進会議の見直しについて

さて、1月の市報で、みんなでまちづくり推進会議の委員を募集した理由は、現在の委員（12名）の任期が令和6年3月25日（2年間）となっているためです。

これまでのみんなでまちづくり推進会議では、委員任期の間にまちづくりに関するテーマを決定し、協議を行い、最終的に市長への提言や報告を行っております。

第6期みんなでまちづくり推進会議（平成30—令和元年度）においては、「U・Iターンをしたくなるまちづくり」について、地元高校生や島根大学生、本市への移住者とワークショップや協議を重ね、みんなでまちづくり推進会議並びに島根大学生からそれぞれ市長へ提言書を提出しました。

第7期みんなでまちづくり推進会議（令和2—令和3年度）においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議は書面開催や時短開催が多くなりましたが、協議テーマ「住み続けたくなるまちづくり」について、委員の意見を報告書にまとめ市長に報告を行っています。

まちづくりに関するテーマを議論する時間の確保については、ご指摘のありました補助金の審査時間の短縮に努めており、書面審査の段階で委員からいただいた質問を事務局で取りまとめ、申請団体から一括して回答していただくことで効率化を図ったり、申請が2回目以降の事業については、対面審査を省略するなど、改善に努めているところですので、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。